

## 西アジア関連学術論文・出版物 (2007年1月～12月)

このコーナーは、会員の皆様が公刊した学術論文ならびに出版物を紹介するコーナーであり、会員の皆様から寄せられた情報に基づいて構成しております。西アジア考古学関連の文献情報を速やかに交換することを目的としており、目的達成のためには会員の方々の自発的な情報提供が必要です。どうぞ情報を、毎号編集委員もしくは事務局までお寄せ下さい。積極的な情報提供をお願いいたします。

須藤寛史 (岡山市立オリエント美術館・学芸員)

edit\_jswaa@yahoo.co.jp

- 赤澤 威 2007.1 「旧人ネアンデルタールと新人クロマニヨン」『生命の科学 遺伝』別冊 20。
- 足立拓朗 2007.3 「原イラン多神教と嘴形注口土器」『西アジア考古学』8: 11-33。
- 足立拓朗 2007.3 「イランにおける施釉陶器の登場」『魅惑のペルシア陶器』6-11 頁 中近東文化センター附属博物館。
- 足立拓朗 2007.6 「アケメネス朝期後のイラン土器編年の問題について」『西アジア考古学の編年 - 日本の考古学調査団からのアプローチ -』72-79 頁 日本西アジア考古学会。
- 足立拓朗 2007.7 「ルリカとたびのなかまたち」中近東文化センター附属博物館。
- 足立拓朗 2007.11 「考古学からみたメディア (上)」『古代オリエント』80: 1-3 NHK学園。
- 安倍雅史 2007.6 「南レヴァント地域における都市の出現と遊牧社会の変容 - 南ヨルダン、ジャフル盆地のタビュラー・スクレイパー製作址を事例として - 」『日本西アジア考古学会第12回総会・大会要旨集』13-18 頁 日本西アジア考古学会。
- 安倍雅史 2007.9 「イラン、タル・イ・ムシュキ遺跡出土の幾何学形石器の研究」『オリエント』50(1): 156-172。
- 有松 唯 2007.3 「イラン、カスピ海南西岸域における鉄器時代文化の地域性とその変化 - 土器分析を中心に - 」『西アジア考古学』8: 87-102。
- 有松 唯 2007.6 「イラン北部における初期鉄器時代文化の流入 - 触覚状突起付青銅剣身の分析・検討を中心として - 」『日本西アジア考古学会第12回総会・大会要旨集』19-24 頁 日本西アジア考古学会。
- 池田 潤 2007.1 「楔形文字入門」『オリエント』34: 4-9 頁 古代オリエント博物館。
- 石田恵子 2007.1 「スベード形樹木と鹿文のスカラボイド印章」『オリエント』34: 1-3 頁 古代オリエント博物館。
- 石田恵子 2007.3 「印章におけるスベード形樹木」『古代オリエント博物館紀要』26: 11-25 頁 古代オリエント博物館。
- 飯島 紀 2007.1 「エジプト アマルナ王朝手紙集: 王への手紙 王からの手紙」国際語学社。
- 泉 拓良 2007.6 「レバノンにおけるアンフォラ編年 - 鉄器時代～ヘレニズム時代 - 」『西アジア考古学の編年 - 日本の考古学調査団からのアプローチ -』58-63 頁 日本西アジア考古学会。
- ウィリアムソン, H. G. M. (杉本智俊訳) 2007.1 『歴代誌上・下 ニュー・センチュリー聖書注解』日本基督教団出版局。
- 上杉彰紀・小茄子川歩 2007.6 「インダス文明期の地域社会構造に関する一考察 - クリ式土器を手がかりとして - 」『日本西アジア考古学会第12回総会・大会要旨集』25-28 頁 日本西アジア考古学会。
- 上杉彰紀・近藤英夫 2007.6 「南アジア銅石器時代・青銅器時代の編年」『西アジア考古学の編年 - 日本の考古学調査団からのアプローチ -』80-85 頁 日本西アジア考古学会。
- 大城道則・亀井宏之・渡邊真紀子・菱田哲郎・塚本俊雄 2007.3 「エジプト・アル・ザヤーン神殿西遺跡 (ハルガ・オアシス) の調査 (2001-2006)」『第14回西アジア発掘調査報告会報告集』10-13 頁 日本西アジア考古学会。
- 大城道則 2007.9 「ケントカウエス王妃はエジプト王となったのか? - 第4王朝末期から第5王朝初期の編年問題とピラミッド両墓制からの視点 - 」『オリエント』50(1): 173-189。
- 小高敬寛 2007.1 『西アジア新石器時代における土器の研究』博士論文 早稲田大学大学院文学研究科。
- 小高敬寛 2007.6 「「カンバス」としての土器 - 西アジア先史土器における彩文装飾 - 」西秋良宏編『遺丘と女神』135-143 頁 東京大学総合研究博物館。
- 小高敬寛 2007.6 「西アジア新石器時代における土器編年の諸問題 - トルコ南東部からシリア北部を中心に - 」『西アジア考古学の編年 - 日本の考古学調査団からのアプローチ -』106-112 頁 日本西アジア考古学会。
- 大津忠彦 2007.1 「スタイン滞日日記にみるシルクロード研究 ( ) - Bodleian Library (Oxford) 所蔵資料 Mss. Stein 250 より - 」『筑紫女学園大学・筑紫女学園大学短期大学部紀要』2: 99-110 筑紫女学園大学・筑紫女学園大学短期大学部。
- 大津忠彦 2007.8 「明治期先覚者吉田正春とその事績 - 「考古学」および「西アジア」の視点より - 」『人間文化研究所年報』18: 157-169 筑紫女学園大学・短期大学部人間文化研究所。
- 岡田保良 2007.7 「西アジア古代後期のヴォールトについて」『オリエント』35: 11-15 頁 古代オリエント博物館。
- 岡田保良 2007.12 「続々・ガダラのドームカル・ヴォールト - シリアの遺構を中心に - 」『第14回ヘレニズム～イスラーム考古学研究』98-102 頁 ヘレニズム～イスラーム考古学研究会。
- カッソン, ライオネル (新海邦治訳) 2007.4 『図書館の誕生: 古代オリエントからローマへ』刀水書房。
- Kadowaki, S. 2007 *Changing Community Life at a Late Neolithic Farmstead: Built Environments and the Use of Space at Tabaqat al-Biḡma in Wadi Ziqlab, Northern Jordan*. Ph. D. thesis, Graduate Department of Anthropology, University of Toronto.
- 禿 仁志 2007.6 「ブルガリア・チャドヴォ遺跡の調査とバルカン前期青銅器時代編年」『西アジア考古学の編年 - 日本の考古学調査団からのアプローチ -』18-23 頁 日本西アジア考古学会。
- 川崎建三 2007.3 「ダルヴェルジン・テバ出土基壇模型に関する一考

- 察」『西アジア考古学』8: 49-66。
- Kawatoko, M. (ed.) 2007.3 *Archaeological Survey of the Raya/al-Tur Area on the Sinai Peninsula, Egypt 2005 and 2006: The First Japanese-Kuwaiti Archaeological Expedition*. Islamic Archaeology and Culture Vol. 1. Islamic Archaeology Mission, The Middle Eastern Culture Center in Japan and Dar al-Athar al-Islamiyyah National Council for Culture, Arts and Letters, Kuwait.
- Kawatoko, M. (ed.) 2007.3 *Archaeological Survey of Raya/al-Tur Area in 2005 and 2006*. In M. Kawatoko (ed.), pp. 1-96.
- 川床睦夫 2007.3 「日本クウェイト合同調査隊によるラーヤ・トゥール地域の考古学的調査 (第26次)」『第14回西アジア発掘調査報告会報告集』19-27頁 日本西アジア考古学会。
- Kawanishi, H. and S. Tsujimura eds. 2007.7 *PRELIMINARY REPORT AKORIS 2006*. University of Tsukuba.
- 川西宏之・辻村純代 2007.3 「エジプト・アコリス遺跡の調査 - 2006 - 」『第14回西アジア発掘調査報告会報告集』14-18頁 日本西アジア考古学会。
- 川西宏之・辻村純代 2007.6 「アコリスの編年」『西アジア考古学の編年 - 日本の考古学調査団からのアプローチ - 』40-45頁 日本西アジア考古学会。
- 木内智康 2007.6 「石と金属」西秋良宏編『遺丘と女神』147-152頁 東京大学総合研究博物館。
- 久米正吾 2007.6 「漆喰製作技法からみた西アジア新石器時代の村落構造」『第6回大学考古学研究会発表要旨集』29-34頁 大学考古学研究会実行委員会。
- 久米正吾 2007.6 「パイロテクノロジーのはじまり - 先史西アジアの石灰・石膏プaster工業 - 」西秋良宏編『遺丘と女神』110-120頁 東京大学総合研究博物館。
- 黒沢 浩・小泉龍人 2007.3 「豊田鐵郎氏寄贈の西アジア出土とされる土器について」『南山大学人類学博物館紀要』25: 1-7。
- 桑原久男 2007.6 「イスラエルにおけるに本体による近年の発掘調査 - エン・ゲヴ遺跡とテル・レヘシユ遺跡 - 」『日本西アジア考古学会第12回総会・大会要旨集』5-10頁 日本西アジア考古学会。
- 小泉龍人 2007.1 「銅石器時代土器の調査記 - ユーフラテス川水系の技術拡散 - 」『Newsletter セム系部族社会の形成』5: 18-24 文部科学省科学研究費補助金特定領域研究「セム系部族社会の形成 ユーフラテス河中流域ピシュリ山系の総合研究」。
- 小泉龍人 2007.6 「メソポタミアにおける前4~3千年紀の編年 - 年代推定の基準と問題点 - 」『西アジア考古学の編年 - 日本の考古学調査団からのアプローチ - 』6-11頁 日本西アジア考古学会。
- 小泉龍人 2007.7 「書評 イラク博物館の秘宝を追え (M.ボグダノス・W.パトリック著、嶋田みどり訳)」『しんぶん赤旗』2007年7月8日号 6頁。
- 後藤 健 2007.6 「湾岸地域における時代区分」『西アジア考古学の編年 - 日本の考古学調査団からのアプローチ - 』34-39頁 日本西アジア考古学会。
- 小林登志子 2007.2 『五〇〇〇年前の日常: シュメル人たちの物語』(新潮選書) 新潮社。
- 小山 満 2007.3 「ダルヴェルジン・テバ第二仏教寺院址の発掘 - 2006年度の調査より - 」『第14回西アジア発掘調査報告会報告集』101-104頁 日本西アジア考古学会。
- 小山 満・川崎建三・金内新司・福本一成・水流宏幸 2007.12 「創価大学ダルヴェルジン・テバDT25, 2006-7発掘調査報告」『第14回ヘレニズム~イスラーム考古学研究』72-90頁 ヘレニズム~イスラーム考古学研究会。
- 近藤二郎 2007.3 「エジプト、アブ・シール南遺跡とダハシール北遺跡の調査 (2006-2007)」『第14回西アジア発掘調査報告会報告集』8-9頁 日本西アジア考古学会。
- 近藤二郎 2007.6 「エジプト王朝時代の編年 新王国時代の編年 - 」『西アジア考古学の編年 - 日本の考古学調査団からのアプローチ - 』12-17頁 日本西アジア考古学会。
- 近藤二郎 2007.9 『最新エジプト学 蘇る「王家の谷」』新日本出版社。
- 近藤英夫・上杉彰紀・小茄子川歩 2007.3 「クッリ式土器とその意義 - 岡山市立オリエント美術館資料の紹介を兼ねて - 」『岡山市立オリエント美術館研究紀要』21: 15-50 岡山市立オリエント美術館。
- 近藤英夫 2007.6 「インダス文明」『南アジア史1 - 先史・古代 - 』24-41頁 山川出版社。
- 近藤康久 2007.6 「テルの話」西秋良宏編『遺丘と女神』34-41頁 東京大学総合研究博物館。
- 西藤清秀 2007.1 「パルミラ地下墓の遺体に伴われた羊骨 - 特に中指骨に関して - 」『ラフィダーン』28: 85-96 国士舘大学。
- 西藤清秀・濱崎一志・石川慎治・吉村和昭・佐藤亜聖・佐々木玉季 2007.3 「パルミラ遺跡北墓地 129-b 号墓の調査」『第14回西アジア考古学会発掘調査報告会報告集』75-81頁 日本西アジア考古学会。
- 西藤清秀・星英司 2007.3 「パルミラ東南墓地所在の地下墓の3次元画像作成」『第14回西アジア考古学会発掘調査報告会報告集』70-74頁 日本西アジア考古学会。
- 西藤清秀 2007.6 「シリア・パルミラ遺跡におけるランプの編年」『西アジア考古学の編年 - 日本の考古学調査団からのアプローチ - 』64-71頁 日本西アジア考古学会。
- 西藤清秀 2007.8 「パルミラの調査 17年の軌跡」『特別陳列 シルクロードを行く』37-44頁 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館。
- 西藤清秀 2007.9 「シルクロードと奈良: パルミラの発掘調査」『あかい奈良』40-43頁 グループ丹。
- 西藤清秀 2007.11 「パルミラの墓の形態と葬送観念」『第25回奈良県立橿原考古学研究所公開講演会 - 海外交流の考古学 - 』17-25頁 奈良県立橿原考古学研究所。
- 齋藤正憲 2007.6 「エジプトの土器づくり民族誌 - 土器粘土の分析・検討を中心にして - 」『日本西アジア考古学会第12回総会・大会要旨集』37-42頁 日本西アジア考古学会。
- 佐々木達夫 2007.3 「西アジアに輸出された14~15世紀の東南アジア陶磁器」『青柳洋治先生退職記念論文集・地域の多様性と考古学・東南アジアとその周辺』23-36頁 雄山閣。
- 佐々木達夫 2007.3 「イスラーム陶器の研究と成果」『西アジアのやきものとガラスを語る』1-18頁 愛知県陶磁資料館。
- 佐々木達夫 2007.3 「オマーン湾岸北部地域の遺跡出土陶磁器」『金沢大学文学部論集史学・考古学・地理学篇』27: 203-282。
- 佐々木達夫 2007.6 「ベルシア湾・オマーン湾遺跡出土の陶磁器編年」『西アジア考古学の編年 - 日本の考古学調査団からのアプローチ - 』50-56頁 日本西アジア考古学会。
- 佐々木達夫 2007.9 「シルクロードのイスラーム陶器研究再開」『土車』115: 3。
- 佐々木達夫 2007.9 「中世末~近世の貿易陶磁流通の諸問題」『貿易陶磁研究』27: 1-3。
- 佐々木達夫 2007.10 「仏教石窟パーミヤーンの景観保存」『金大考古』58: 1-5。
- 佐々木達夫・佐々木花江 2007.3 「アラブ首長国連邦マサフィ砦の発掘 2006年」『第14回西アジア発掘調査報告会報告集』105-110頁 日本西アジア考古学会。

- 佐々木達夫・佐々木花江 2007.5 「ディバ農園内中世遺跡の踏査と第1次発掘調査」『金大考古』56: 6-10。
- 佐々木達夫・佐々木花江 2007.6 「マサフィ砦の発掘・2006年」『日本西アジア考古学会 第12回総会・大会要旨集』60頁 日本西アジア考古学会。
- 佐々木達夫・佐々木花江 2007.12 「中央アジア陶器の共通性と地域性」『第14回ヘレニズム～イスラーム考古学研究』36-44頁 ヘレニズム～イスラーム考古学研究会。
- Sasaki, T. and H. Sasaki 2007.12 The Early Islamic Evidence Found at A'Ali. In *Twenty Years of Bahrain Archaeology (1986-2006)*, p.33.
- Sato, Ikuko 2007.4 On the Worship of Melqart in the Ancient Mediterranean World. *KODAI* 13/14: 25-30 (Proceedings of the International Symposium on Ancient Mediterranean World - held on 16th-18th April 2004 at University of Tokyo).
- 四角隆二 2007.5 「外国考古学研究の動向 5 西アジア」『日本考古学年報 58 (2005年度版)』110-117頁 日本考古学協会。
- 柴田大輔 2007.6 「中期アッシリア時代における紀年職研究の現状とテル・タバン出土中期アッシリア行政文書の年代」『西アジア考古学の編年 - 日本の考古学調査団からのアプローチ - 』30-33頁 日本西アジア考古学会。
- シヨー, イアン (近藤二郎・河合望訳) 2007.12 『古代エジプト』岩波書店。
- Shirai, N. 2007 Supra-regional Concepts in Near Eastern Neolithisation from a Viewpoint of Egyptian Neolithic Research. *Paléorient* 32(2): 7-21.
- Shirai, N. 2007 Origins and Development of Bifacial Stone Tools and Their Implications for the Beginning of Animal Herding in the Egyptian Western Desert. In K. Kroeper, M. Chlodnicki, and M. Kobusiewicz (eds.), *Archaeology of Early Northeastern Africa*, pp.355-374. Poznan, Poznan Archaeological Museum.
- Shirai, N. 2007 The Fayum Epipalaeolithic in the Light of New Discoveries. In *The International Symposium, Prehistory of Northeastern Africa: New Ideas and Discoveries* (abstract of papers), p.22. Poznan, Poznan Archaeological Museum.
- Shindo, Y. 2007.3 Lead Glass Found from Raya and the Monastery of Wadi al-Tur Sites. In M. Kawatoko (ed.), pp.109-116.
- Shindo, Y. 2007.3 Islamic Glass from Raya in the 8th Century in Raya. In M. Kawatoko (ed.), pp.97-107.
- 真道洋子 2007.3 「第4章 イスラーム・ガラスの展開」『シルクロードのガラス 時空を超えた魅惑の輝き』93-113頁 山川出版社。
- 真道洋子 2007.6 「ラーヤ・トゥール地域の発掘調査に基づくガラス編年」『西アジア考古学の編年 - 日本の考古学調査団からのアプローチ - 』46-49頁 日本西アジア考古学会。
- 杉本智俊 2007.1 「歴代誌研究とH.G.M.ウィリアムソン」『歴代誌上・下 ニュー・センチュリー聖書注解』547-561頁 日本基督教団出版局。
- 杉本智俊 2007.3 「鉄器時代の南レヴァントにおける手打ち太鼓奏者土偶とその他の楽師土偶の関係」『西アジア考古学』8: 35-47。
- Sugimoto, David T. 2007.11 Female Figurines with a Disk from Palestine : An Analysis of their Distribution Patterns. *Annual of the Japanese Biblical Institute* 30-31: 61-97.
- 須藤寛史 2007.6 「羊毛のドメスティケーション - ウールの発達と紡錘車 - 」西秋良宏編 『遺丘と女神』94-102頁 東京大学総合研究博物館。
- 須藤寛史・西秋良宏 2007.3 「シリア、テル・セクル・アル・アヘイマル遺跡の動物骨埋納」『西アジア考古学』8: 103-114。
- 高橋寿光 2007.3 「エジプト、アブ・シール南丘陵遺跡岩窟遺構出土の中王国時代の土器に関する一考察」『西アジア考古学』8: 115-130。
- 谷一 尚 2007.6 「ガラスの歴史、人類との6500年」『季刊ふでばこ』11: 23-29 白鳳堂。
- 月本昭男 2007.3 「古代メソポタミアにおける死生観と死者儀礼」『西アジア考古学』8: 1-10。
- 辻村純代 2007.6 「古代エジプト王朝の穿孔頭蓋 - アコリス出土ミイラを中心に - 」『古代文化』59(1) 京都。
- 常木 晃 2007.3 「イラン、ファルス地方シヴァンド川ダム建設に伴う遺跡救済プロジェクト - 2006 - 」『第14回西アジア発掘調査報告会報告集』112-121頁 日本西アジア考古学会。
- 常木 晃 2007.3 「イラン、ボラギ渓谷考古学緊急調査シンポジウム」『西アジア考古学』8: 165-169。
- 常木 晃 2007.6 「テル・エル・ケルク遺跡の調査からみた北西シリアの新石器時代編年」『西アジア考古学の編年 - 日本の考古学調査団からのアプローチ - 』86-91頁 日本西アジア考古学会。
- 常木 晃 2007.7 「研究計画 西アジアにおける都市化過程の研究」大沼克彦編 『文部省科学研究費補助金特定領域研究セム系部族社会の形成第3回シンポジウム平成17～18年度の研究成果』17-20頁。
- 常木 晃 2007.7 「研究計画 西アジアにおける都市化過程の研究 平成18年度研究報告」大沼克彦編 『文部省科学研究費補助金特定領域研究セム系部族社会の形成平成18年度研究報告』35頁。
- Tsuneki, A. 2007.7 Development of the Clay Sealing System in the Neolithic Period in West Asia from an Archaeological Study of Tell el-Kerkh. 大沼克彦編 『文部省科学研究費補助金特定領域研究セム系部族社会の形成平成18年度研究報告』36-43頁。
- Tsuneki, A., Z. Mohsen, and K. Ohnuma 2007.12 Proto-Neolithic Caves in the Bolaghi Valley, South Iran. *Iran* 44: 1-22.
- 常木 晃・小高 敬寛 2007.3 「新石器時代の巨大集落 - シリア・テル・エル・ケルク遺跡の2006年度調査 - 」『第14回西アジア発掘調査報告会報告集』36-44頁 日本西アジア考古学会。
- 常木 晃・長谷川敦章 2007.3 「シリア、ラタキア県における考古学的踏査 - 2006 - 」『第14回西アジア発掘調査報告会報告集』88-94頁 日本西アジア考古学会。
- Tsuneki, A., J. Hydar, T. Odaka and A. Hasegawa 2007.3 *A Decade of Excavations at Tell el-Kerkh, 1997-2006*. Department of Archaeology, University of Tsukuba.
- 津村宏臣 2007.3 「先史海洋民族の生態史を辿る - オマーン東海岸の詳細分布調査と環境調査 - 」『第14回西アジア発掘調査報告会報告集』144-150頁 日本西アジア考古学会。
- 津村真輝子 2007.3 「サーサーン式銀貨につけられた「擦痕」は何か? : 新疆ウチャ出土一括コインのカウンターマークとの関係から見た新知見」『オリエント』49: 40-69頁 日本オリエント学会。
- 津村真輝子 2007.8 「ウズベキスタンの調査 ダルヴェルジン・テパ、ツィタデル(城塞址)の発掘」『特別陳列 シルクロードを行く』19-36頁 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館。
- 津村真輝子 2007.12 「シリア出土のローマコイン - ミシオルフェ出土一括コインから」『第14回ヘレニズム～イスラーム考古学研究』7-10頁 ヘレニズム～イスラーム考古学研究会。
- 中井義明 2007.2 「ボイオーティア戦争 - 前三七五年の平和までの政治過程 - 」『立命館文学』597: 22-33 立命館大学人文学会。
- 中井義明・佐藤尊次・渋谷 聡・加藤克夫・小澤卓也 2007.5 『教養のための西洋史入門』ミネルヴァ書房。
- 中井義明 2007.5 「第1章 古代ギリシアの歴史」中井義明他 『教養のための西洋史入門』3-24頁 ミネルヴァ書房。
- 中井義明 2007.5 「第2章 古代ローマの歴史」中井義明他 『教養の

- ための西洋史入門」25-50頁 ミネルヴァ書房。
- 中野智章 2007.3「ピラミッドの規範から見た古代エジプト社会」『文明社会における異文化の法：比較法史研究第15巻』7-26頁 比較法史学会。
- 中野智章 2007.11「古代ピラミッドの王陵について - レイズナー理論の再検討」『伊藤秋男先生古希記念考古学論文集』319-331頁。
- 西秋良宏 2007.3「北メソポタミア農耕村落の起源 - セクル・アル・アヘイマル遺跡第7次発掘調査(2006年) -」『第14回西アジア発掘調査報告会報告集』30-35頁 日本西アジア考古学会。
- 西秋良宏 編 2007.6『遺丘と女神 - メソポタミア原始農村の黎明』東京大学総合研究博物館。
- 西秋良宏 2007.6「テル・サラサートから50年 - 序に代えて」西秋良宏編『遺丘と女神』6-9頁 東京大学総合研究博物館。
- 西秋良宏 2007.6「テル・セクル・アル・アヘイマル遺跡から見た北メソポタミア新石器時代」『西アジア考古学の編年 - 日本の考古学調査団からのアプローチ -』92-95頁 日本西アジア考古学会。
- 西秋良宏 2007.10「シリア、デデリエ洞窟にみられる後期ムステリアン石器群の年代的变化」『第61回日本人類学大会プログラム・抄録集』56頁。
- 沼本宏俊 2007.3「粘土板文書を発見！シリア、テル・タバノ遺跡の発掘調査(2006年)」『第14回西アジア発掘調査報告会報告集』122-127頁 日本西アジア考古学会。
- 芳賀 満 2007.3「中央アジアのギリシャ系都市を掘る - ウズベキスタン共和国カンピール・テバ第1次発掘調査 -」『第14回西アジア発掘調査報告会報告集』95-100頁 日本西アジア考古学会。
- 芳賀 満・古庄浩明・宇野隆夫・相馬拓也 2007.12「ウズベキスタン共和国カンピール・テバ第2次発掘調査速報(2007年度)」『第14回ヘレニズム～イスラーム考古学研究』91-97頁 へレニズム～イスラーム考古学研究会。
- Baba, M. 2007.10. Okey-doke! Big Pots and More Kilns at HK11C. In R. Friedman (ed.), *Nekhen News* 19: 26-27. London.
- ハワス, ザヒ(吉村作治監修、馬場匡浩訳)2007.7『黄金のミイラが眠る谷』アケト、汐文社。
- ハワス, ザヒ(吉村作治監修、西坂朗子訳)2007.8『黄金王ツタンカーメンの素顔 世界初のCTスキャン調査』アケト、汐文社。
- 樋口隆康 2007.8『地中海シルクロード 遺跡の旅』日本放送出版協会。
- Higuchi, T, K. Saito and W. As'sad 2007.8 *Tomb H. Nara Palmyra Archaeological Mission and Palmyra Museum*, Damascus.
- 日野 宏・巽 善信 2007.3「イスラエル国、テル・レヘシュ遺跡第1次調査(2006年)」『第14回西アジア発掘調査報告会報告集』82-87頁 日本西アジア考古学会。
- 平山郁夫シルクロード美術館・古代オリエント博物館編 2007.7『シルクロードのガラス：時空を超えた魅惑の輝き』山川出版社。
- 深見奈緒子 2007.7「イスラーム初期の都市と建築」『オリエント』35: 16-20頁 古代オリエント博物館。
- 深見奈緒子 2007.12「ラッカ-ジャズィーラ地方の拠点」『第14回ヘレニズム～イスラーム考古学研究』116-137頁 へレニズム～イスラーム考古学研究会。
- Fujii, S. 2006 Wadi Abu Tulayha: A Preliminary Report of 2005 Spring and Summer Excavation Seasons of the Jafr Basin Prehistoric Project, Phase 2. *Annual of the Department of Antiquities of Jordan* 50: 9-32.
- Fujii, S. 2007 Wadi Badda: A PPNB Settlement below the Fjaje Escarpment Near Shawbak. *Neo-Lithics* 2/07: 19-23.
- 藤井純夫 2007.3「ワディ・アブ・トレイハ：ヨルダン南部のPPNB出先集落」『第14回西アジア発掘調査報告会報告集』45-51頁 日本西アジア考古学会。
- 藤井純夫 2007.3「定住化遊牧民の集落内氏族配置と墓地・井戸の分有関係 - ヨルダン南部、フセイニーエ村の事例研究 -」『西アジア考古学』8: 155-164。
- 藤井純夫 2007.6「ヨルダン南部の移牧春営地、ワディ・アブ・トレイハの編年の意義」『西アジア考古学の編年 - 日本の考古学調査団からのアプローチ -』96-101頁 日本西アジア考古学会。
- 藤井純夫 2007「先土器新石器時代の移牧春営地とダム：ヨルダン南部、ワディ・アブ・トレイハ遺跡の考古学的調査」『名古屋大学加速器質量分析計業績報告書』18: 148-161。
- 藤井純夫・足立拓朗 2007「2007年度ビシュリ山系北麓ケルン墓サーベイ」『Newsletter セム系部族社会の形成』7: 1-5 文部科学省科学研究費補助金特定領域研究「セム系部族社会の形成 ユーフラテス河中流域ビシュリ山系の総合研究」。
- 藤井純夫・足立拓朗 2007.3「ワディ・アブ・トレイハとワディ・ルウェイシッド・アッ・シャルキ：先土器新石器時代の貯留式灌漑用ダム」『第14回西アジア発掘調査報告会報告集』52-60頁 日本西アジア考古学会。
- 前田 修 2007.10「シリアにおける農村世界の発展」『日本西アジア考古学会2007年度公開セミナー要旨集 世界最古の農耕村落の出現 - 西アジア先史考古学の最前線 -』1-6頁 日本西アジア考古学会。
- 前田たつひこ 2007.3「クシャーン王朝揺籃の地」『古代オリエント博物館紀要』26: 27-54頁 古代オリエント博物館。
- 牧野久実 2007.3「鉄器時代のエン・ゲヴのケースメート式城壁(二重城壁)に関する一考察 - その機能に関する置田雅昭氏の仮説をめぐって -」『西アジア考古学』8: 131-141。
- 牧野久実 2007.5『イスラエル考古学の魅力 サブラと遺跡と湖と』(株)ミルトス。
- マシュクール, M.・J.・D.・ヴィーニユ・西秋良宏 2007.6「西アジアにおける動物の家畜化とその発展」西秋良宏編『遺丘と女神』80-93頁 東京大学総合研究博物館。
- 松尾登史子 2007.3「テッサロニキ出土のアテナ女神像の改作時期 - ローマ皇妃ユリア・ドムナ像の諸形式からの検証 -」『西アジア考古学』8: 143-154。
- 松村公仁 2007.6「中央アナトリア鉄器時代の編年 - カマン・カレホユック遺跡からのアプローチ -」『西アジア考古学の編年 - 日本の考古学調査団からのアプローチ -』24-29頁 日本西アジア考古学会。
- 三宅 裕 2007.3「西アジアにおける土器の起源を探る：トルコ、サラット・ジャーミー・ヤヌ遺跡第3次調査(2006年)」『第14回西アジア発掘調査報告会報告集』61-68頁 日本西アジア考古学会。
- 三宅 裕 2007.6「北メソポタミアにおける土器新石器時代の編年 - トルコ共和国サラット・ジャーミー・ヤヌ遺跡の成果から -」『西アジア考古学の編年 - 日本の考古学調査団からのアプローチ -』102-105頁 日本西アジア考古学会。
- Miyake, Y. 2007.5 2005 Yili Diyarbakir Ili, Salat Camii Yani Kazisi. 28. *Kazi Sonuclari Toplantisi* 2. Cilt, 283-294. T.C. Kultur ve Turizm Bakanligi, Kultur Varliklari ve Muzeler Genel Mudurlugu, Ankara.
- Miyake, Y. 2007.10 Salat Cami Yani: Dicle Havzası'nda Canak Comlekli Neolitik Donem Ait Yeni Bir Yerlesme. In *Anadolu'da Uygurligin Dogusu ve Avrupa'ya Yayilimi: Turkiye'de Neolitik Donem, Yeni Kazilar, Yeni Bulgular*, pp. 37-46. Arkeoloji ve Sanat Yayinlari, Istanbul.
- 三宅 裕 2007.10「トルコにおける初期農耕文化 - これは農耕村落なのか? -」『日本西アジア考古学会2007年度公開セミナー要

- 旨集 世界最古の農耕村落の出現 - 西アジア先史考古学の最前線 - 』7-12頁 日本西アジア考古学会。
- 宮下佐江子 2007.7「ガラス製脚付杯」『オリエンテ』35: 1-2頁 古代オリエント博物館。
- 宮下佐江子 2007.7「研究計画 オアシス都市パルミラにおけるビシュリ山系セム系部族文化の基層構造と再編 パルミラの女性彫刻に見られる装身具について」大沼克彦編『文部省科学研究費補助金特定領域研究セム系部族社会の形成平成18年度研究報告』136-143頁。
- 宮下佐江子 2007.7「パルミラのテッセラについて」『Newsletter セム系部族社会の形成』8: 13-15 文部科学省科学研究費補助金特定領域研究「セム系部族社会の形成 ユーフラテス河中流域ビシュリ山系の総合研究」。
- 宮下佐江子 2007.7「日本の海外考古学調査」『アジア遊学100』90-93頁 勉誠出版。
- 宮下佐江子 2007.12「古代オリエント博物館収蔵テッセラについて」『第14回ヘレニズム～イスラーム考古学研究』1-6頁 ヘレニズム～イスラーム考古学研究会。
- 森谷公俊 2007.1『アレクサンドロスの征服と神話』(興亡の世界史01) 講談社。
- 矢澤 健 2007.6「エジプト中王国時代の祭祀遺跡における廃棄された土器について - アブ・シール南丘陵遺跡の例とその時間的変化 - 」『日本西アジア考古学会第12回総会・大会要旨集』29-35頁 日本西アジア考古学会。
- 矢島文夫 2007.6『オリエントの夢文化：夢判断の夢神話』東洋書林。
- 山内和也・岩井俊平 2007.3「アフガニスタン、パーミヤーン遺跡保存事業 - 2006年度の成果 - 」『第14回西アジア発掘調査報告会報告集』132-139頁 日本西アジア考古学会。
- 山内和也・岩井俊平 2007.3「タジキスタン、アジナ・テバ仏教寺院の保存事業」『第14回西アジア発掘調査報告会報告集』140-143頁 日本西アジア考古学会。
- 山内和也・佐々木達夫・佐々木花江・野上建紀 2007.12「パーミヤーンの日干しレンガ積み建築の一例」『金大考古』59: 32-37。
- Yamada, S. 2007.2 The City of Togarma in Neo-Assyrian Sources. *Altorientalische Forschungen* 33 (2006): 223-236.
- 山田重郎 2007.2「イスラエルの王アハブとアッシリア」『聖書の世界』16: 7-15。
- 山田重郎・柴田大輔 2007.3「2005 / 2006年シリア、テル・タバン出土楔形文字文書」『第14回西アジア発掘調査報告会報告集』128-131頁 日本西アジア考古学会。
- 山田重郎 2007.3「列王記とメソポタミアの歴史文書」『CISMORユダヤ会議 - 第2号』6-15頁 同志社大学一神教学際研究センター。
- 山田重郎 2007.10「アッシュルバニパルの図書館」『中近東文化センター付属三笠宮記念図書館 News Letters』4: 2-3。
- Yamahana, K. 2007.11 Fingerprinting the Ancient Egyptian Vitreous Objects: Using SR-XRF for Archaeological Interpretation. In *The Proceedings for 6th SESAME Users' Meeting, 17-19 November, 2007*, p. 11. Jordan.
- 山藤正敏 2007.3「前4千年紀後半期パレスティナ地域への文化流入 - ナイル河下流域系土器の分析から - 」『西アジア考古学』8: 67-86。
- 吉田茂生・山花京子 2007.2「古代エジプト新王国時代のファイアンズ遺物の放射光分析 - 最先端科学による考古学遺物の分析研究とその結果の歴史的解釈 - 」『文明』9: 53-68 東海大学文明研究所。
- 吉村作治・近藤二郎・河合望・柏木裕之・西坂朗子・高橋寿光・矢澤健 2007.3「発掘調査概要」『エジプト学研究』別冊第11号(アブ・シール南丘陵遺跡第15次報告)33-58頁 早稲田大学エジプト学会。
- Yoshimura, S. and M. Baba 2007.12 Die jungsten Entdeckungen von unversehrten Sargen in Dahschur-Nord. *Sokar* 15: 63-65. Berlin.
- Yoshimura, S. and N. Kawai 2007.3 An Intact Multiple Burial in Northwest Saqqara. *Egyptian Archaeology* No. 30, Spring 2007, pp. 3-5.
- レンフルー, コリン・P. パーン(池田裕・常木晃・三宅裕監訳、松本健速・前田修訳)2007.7『考古学：理論・方法・実践』東洋書林。
- Wada, K. 2007.9 Provincial Society and Cemetery Organization in the New Kingdom. *Studien zur altägyptischen Kultur* 36: 347-89. Hamburg, Helmut Buske Verlag.
- 和田久彦 2007.10「ヨルダンの新石器文化の特色を考える」『日本西アジア考古学会2007年度公開セミナー要旨集 世界最古の農耕村落の出現 - 西アジア先史考古学の最前線 - 』13-17頁 日本西アジア考古学会。
- 渡邊浩明 2007.1 Qumran: What Was the Nature of the Settlement? 『梅光学院大学論集』40: 51-63。